

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2007-203104(P2007-203104A)

【公開日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2007-128353(P2007-128353)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 353

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月31日(2007.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技機を備えた遊技島において、各遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置であって、

遊技媒体を計数する計数ユニットと、

この計数ユニットへ遊技媒体を整列させて導く導入経路を構成する整列ユニットと、

投入された遊技媒体の流れ方向を変換して前記整列ユニットへ送り込む方向変換ユニットと、

を備え、

前記整列ユニットは、前記方向変換ユニットから送り込まれた遊技媒体を複数列に仕切って整列させつつ移動させる複数の仕切部材を有し、一部の仕切部材の少くとも上流端近傍における上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されている、ことを特徴とする遊技媒体計数装置。

【請求項2】

前記方向変換ユニットは、垂直部と、この垂直部の下端から前記整列ユニットに向かって下り傾斜しておかれる底面部とを有し、

前記整列ユニットは、前記仕切部材の上流端における上縁が、前記方向変換ユニットの底面部の末端のレベルに一致するように設けられている、請求項1記載の遊技媒体計数装置。

【請求項3】

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向において前記仕切部材の外側に位置する左右一対の側壁をさらに有し、各側壁の上流域における上縁が水平になっている、請求項1又は2記載の遊技媒体計数装置。

【請求項4】

前記整列ユニットは、遊技媒体が集中する箇所の仕切部材の上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されている、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の遊技媒体計数装置。

【請求項5】

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向中央部近傍に位置する仕切部材の上縁が幅方向端部近傍に位置する仕切部材の上縁より高く設定されている、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の遊技媒体計数装置。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0007】**

本発明は、供給されるパチンコ玉等の遊技媒体の流れを分散させ、一部の流路での渋滞や詰りの発生をなくし、処理時間の短縮と流路の局部的な損耗の防止を図ることのできる、特に遊技島の複数の遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置を提供することを課題とするものである。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0008**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0008】**

上記課題の解決手段として本発明は、複数の遊技機を備えた遊技島において、各遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置であって、遊技媒体を計数する計数ユニットと、この計数ユニットへ遊技媒体を整列させて導く導入経路を構成する整列ユニットと、投入された遊技媒体の流れ方向を変換して前記整列ユニットへ送り込む方向変換ユニットとを備え、前記整列ユニットは、前記方向変換ユニットから送り込まれた遊技媒体を複数列に仕切って整列させつつ移動させる複数の仕切部材を有し、一部の仕切部材の少くとも上流端近傍における上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されていることを特徴とする。

前記方向変換ユニットは、垂直部と、この垂直部の下端から前記整列ユニットに向かって下り傾斜しておかかる底面部とを有し、前記整列ユニットは、前記仕切部材の上流端における上縁が、前記方向変換ユニットの底面部の末端のレベルに一致するように設けられていることが好ましい。

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向において前記仕切部材の外側に位置する左右一対の側壁をさらに有し、各側壁の上流域における上縁が水平になっていることが好ましい。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0033**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0033】**

前記側壁47, 47の上端縁は図12、図13にみられるように上流域が水平に、下流域が後傾とされ、また通路板50, 50...の上端縁はその入口端が前記方向変換ユニット41の底面部41bの末端のレベルに一致し、出口端が計数ユニット43の後述する計数通路52の始端のレベルに一致するように後方に向け下り傾斜に形成されている。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0034**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0034】**

前記仕切板51の上端縁は、その入口端が前記方向変換ユニット41の底面部41bの末端のレベルに一致し、そこから上り傾斜し、下流端近傍域は下り傾斜している。そして4枚の仕切板51, 51...のうち幅方向中央寄りの2枚の仕切板(51, 51)で示す

) は他の 2 枚の仕切板 5 1 , 5 1 に較べて上り傾斜域の勾配が急になっていて上端縁が高く形成されている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

上記整流ユニット 4 6 の下流位置には前記の計数ユニット 4 3 が設置されている。この計数ユニット 4 3 は、前後端が開放された角筒状の枠体内に仕切板 5 7 a と通路板 5 7 b とで複数 (例えは 5 列) の計数通路が形成されたもので、各計数通路には光学式の発光部および受光部からなる計数センサ S 1 が配設されており、前記整列ユニット 4 6 によって整列されたパチンコ玉が計数通路を流れ、計数センサ S 1 の検知ラインを遮切ることにより計数がなされる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 3】

1 遊技機 (パチンコ台)

2 台間玉貸機

3 玉補給通路

4 玉回収通路

5 計数装置

1 0 上皿

1 6 天板

1 7 投入孔

1 8 玉箱

2 4 排出孔

3 0 表示部

3 2 表示部

3 3 カバー

3 4 , 3 7 シャッタ部材

3 8 シャッタユニット

4 0 受板

4 1 方向変換ユニット

4 1 a 垂直部

4 1 b 底面部

4 3 , 7 6 計数ユニット

4 5 導入経路 (整列通路)

4 6 , 7 5 整列ユニット

4 9 , 7 8 ユニット枠体

5 0 , 7 9 通路板

5 1 , 5 1 , 8 0 , 8 0 仕切板

5 2 , 8 1 計数通路

5 3 蓋体

5 7 a , 8 3 仕切板

5 7 b , 8 4 通路板

S 1 計数センサ

S 2 チエックセンサ

【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

